

日本雑草学会和文誌「雑草研究」執筆要領改正のお知らせ

日本雑草学会和文誌編集委員会

日本雑草学会和文誌「雑草研究」執筆要領は、平成19年4月開催の和文誌編集委員会で一部改正を致しました。その後も投稿者への便宜を図ると共に、編集委員や校閲者の労力軽減を目指して、執筆要領の見直しを続けて参りました。平成21年4月開催の和文誌編集委員会にて引用文献の記載方法と、編集に関する文案などを電子メール投稿のスタイルに改めました。主な改正部分は、「5. 表, 図, 写真」「6. 引用文献」「9. 完成原稿の提出」です。

今後は、本執筆要領に基づき、ご投稿頂きたくお願い申し上げます。なお、執筆要領に関するご質問やご意見等がございましたら、和文誌編集委員会までお問い合わせください。

日本雑草学会和文誌「雑草研究」執筆要領

1. 原稿の記載順序

原稿は、1)表題、著者名、所属機関とその住所（郵便番号および代表者の電子メールアドレスを含む）、2)要約（500字以内）およびキーワード（5語程度）、3)本文（原則として、緒言、材料および方法、結果、考察、（謝辞）の順）、4)引用文献、5)英文摘要、6)図表およびその説明、の順とする。ただし、短報、技術レポート、資料および総説・論説では要約を必要としないが、英文タイトルのみは必要とする。その他の項目はとくに限定しないが、5語程度のキーワードを冒頭に記入する。なお、英文摘要は翻訳会社、または英語が母国語の人の校閲を受け、その証明書を添付することが望ましい（「提出原稿一覧および刷り上がり頁数」参照）。

提出原稿一覧および刷り上り頁数

	表題等 ¹⁾	キーワード ²⁾	要約	本文	図表およびその説明	英文表題等 ¹⁾	英文キーワード	英文摘要	刷り上り頁数 ²⁾
原著論文	○	○	○	○	○	○	○	○	6頁以内
短報	○	○	不要 ³⁾	○	○	○	○	不要 ³⁾	2頁以内
技術レポート	○	○	不要 ³⁾	○	○	○	○	不要 ³⁾	4頁以内
総説・論説	○	○	不要 ³⁾	○	○	○	○	不要 ³⁾	8頁以内
資料	○	○	不要 ³⁾	○	○	○	○	不要 ³⁾	4頁以内

1) 表題等, 英文表題等: 表題, 著者名, 所属機関とその住所(郵便番号および代表者の電子メールアドレスを含む)

2) 刷り上り頁数: 著者負担により超過頁を認めることがある。ただし, 短報では3頁を超えないこととする。

3) 原著の論文以外の要約, 英文摘要: 要約を添付してもかまわない。ただし, 英文摘要においては翻訳会社等または英語が母国語の人の英文校閲を受け, その証明書を添付することが望ましい。

2. 原稿用紙

A4判の用紙を用い, 頁設定は1頁1行36字, 28行(2頁で刷り上がり約1頁)とし, 上下左右に3cm以上の余白をとる。ただし, 英文摘要は1頁24行を超えないこと。

3. 原稿の長さ

原稿の長さは, 本会報投稿規程3による。

4. 用語, 数量の単位

原稿は横書き口語文とする。ただし, 図, 表, 写真については英文による記述も認めるが和英併記は認めない。術語以外はなるべく常用漢字を用い, 「現代かな使い」による。作物, 動植物の和名は原則としてカタカナで書く。雑草の和名, 学名は原則として「雑草学用語集」に従って記載する。なお, 学名は表題, 要約および本文において最初に記述した和名の次にかっこ書きで入れる。ただし, よく知られている種の場合には表題の学名を省略してもよい。和名のない場合は現地名と学名を使用する。除草剤の名は原則として「雑草学用語集」に従った一般名を用い, 必要に応じて化学名を英語で併記

する。商品名は用いない。数字は原則として算用数字を用い、人名には原則として敬称をつけない。数量の単位はSI基本単位を原則とするが、単位、術語の略字などは次の例による。長さ：m, 面積：m², a, ha, 容量：l, m³, 重量：g, kg, ton(s), 時間：sec, min, hr, day(s), week (s), month (s), year(s), 温度：℃, 濃度：%, N, M, ppm, mg g⁻¹, mol l⁻¹, 電気量：V, A, W, O, S, 放射能：dpm, cpm, Bq, Sv, 圧力：Pa, mmHg, 光量：μEm²s⁻¹, lux, μmol m⁻²s⁻¹, その他：pH, pF, Eh, rpm, J。除草剤の使用量は有効成分量で示すこととするが成分量で示すことのできないものは製品量で示してその旨を注記する。

5. 表, 図, 写真

表：1表ごとに1つのファイルに保存する。

図：図は著者の作成原図をそのまま使用するので、図中に文字および記号を入れ1図ごとに1つのファイルに保存する。印刷時の大きさは編集委員会で決定するが、横が67mmあるいは142mm（2段通しの場合）で掲載することになるので、それを想定して作成する。手書きで図のトレースを希望する場合あるいは編集委員会が専門業者によるトレースが必要と判断した場合、トレース代は著者の実費負担とする。

表および図の書き方、様式は「記載例」および最新号の会誌を参照すること。

表の記載例

(タイトルは中央揃えとする。また、句点につけない)

第〇表 △△△△△△△△△△△△△△△△△△			✓ (太線)
△△△	△△△△△△△ ¹⁾	△△△△△△△ ²⁾	✓ (細線)
			✓ (細線)

1) □□□□□□□□□□□□□□□□。

2) □□□□□□□□□□□□□□□□。 (注の文には、句点をつける)

(注に使用する記号は、1), 2), *, **などとする)

(表は横線を原則とするが、縦線の有無等の細部は特に定めない)

(学術雑誌から引用する場合)

藤田 究 1996. 水稻乳苗の生育に及ぼす数種土壌処理型除草剤の影響. 雑草研究 41, 44-54.

Powles, S. B., D. F. Loraine-Colwill, J. J. Dellow and C. Preston 1998. Evolved resistance to glyphosate in rigid ryegrass (*Lolium rigidum*) in Australia. Weed Sci. 46, 604-607.

佐合隆一・牛田勝弘・松田照男 1996. イボクサ (*Murdannia keisak* (Hassk.) Hand.-Mazz.) の発芽特性と除草剤に対する感受性. 雑草研究 41, 344-349.

(単行本を引用する場合)

Zimdahl, L. R. 1999. Fundamentals of Weed Science. Academic Press, San Diego, pp. 41-54.

鷺谷いづみ・矢原徹一 1996. 「保全生態学入門」. 文一総合出版, 東京, pp. 15-18.

(共著の単行本の一部を引用する場合)

Marshall, G. and R. P. Finch 1997. Molecular ecology: its role in studying herbicide resistance. In "Weed and Crop Resistance to Herbicides" ed. by R. De Prado, J. Jorrin and L. Garcia-Torres, Kluwer Academic Pub., Dordrecht, pp. 192-208.

森田竜義 1997. 世界に分布を広げた盗賊種セイヨウタンポポ. 山口裕文編著「雑草の自然史-たくましさの生態学-」, 北海道大学図書刊行会, 札幌, pp. 192-208.

7. 英文摘要の表題と著者名

英文表題はゴシックで記す。原則として語頭のみ大文字とし、以降は小文字を用いる。但し、頭文字が常に大文字で記される語などは通例に従う(例: Change in weed control studies of rice paddy fields in Korea.)。また、著者名は、名 (first name) 及び姓 (family name) の語頭のみを大文字とし、名の省略形は用いない(例: Takashi Yamada)。なお、連名の際は、“and” を使用し “&” を用いない。所属を区別する際には、アステリスク (*) を姓の右肩に付記し、番号による付記を行わない。

8. 字体の指定

欧文字体の指定は、イタリックには-、ゴシックには~を赤色のアンダーラインで示す。ただし、その字体で原稿が作成されている場合には指定を省略することができる。

9. 完成原稿の提出

論文掲載可の通知を受け取った後、本文および図表を Word, Excel で作成したファイ

ルは電子メールに添付して送付する。Windows で読み取れるようにフォーマットされた記憶媒体（FD または CD）にテキストファイル形式、または Word 文書形式ファイルおよび Excel ファイルに保存し提出することもできる。なお、図表を表作成ソフトで作成し、記憶媒体に保存する場合は、1 つのファイルでシートごとに別々に図表を保存するか（1 つのシートに複数の図表を入れない）、あるいは図表ごとに別ファイルを作成すること（例：ファイル名 表 1）。完成原稿は、電子メールに添付して送付することもできる。原稿の提出先は、編集委員会が著者に指示する。

（平成21年5月25日改正）